

共通科目		DM_3006 国際感染症・危機管理学特論 Advanced Study & Research for International Infectious Diseases/Health Protection		開 講	毎年・隔年
				区 分	選択
単位	1 単位	科目責任者	河内正治 教授（ADC研究所）	授業形態	講義・演習

概要	パンデミックインフルエンザを主な題材とし、東南アジアをはじめとするグローバルな感染症の現状及び発症機序、ならびに治療法について学ぶ。 また同時に感染症に対する危機管理についても学ぶ。				
到達目標	1)パンデミックインフルエンザなど、東南アジアをはじめとするグローバルな感染症の現状について説明できる。 2)ウイルス感染に対する危機管理について説明できる。 3)インフルエンザウイルスなどウイルス感染のメカニズムや重症化のメカニズムを説明できる。 4)ウイルス感染に対する抗ウイルス薬について説明できる。				
事前事後	アジア各国の医療の現状を国際感染症および危機管理の点から知識を得ておく。 免疫学の基礎を身につけておく。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				
評価方法	講義・演習の課題(60%)、演習における報告発表(20%)、討議内容等(20%)を評価する。				
参考書	国立感染症研究所、WHOおよび米国CDCのホームページを日常的に確認しておく				
履修上の注意事項	1) 国際感染症、危機管理学に限らず、院内または生活環境における感染症および診断、評価に関連する感染免疫や感染誘発血管炎などの臨床微生物学的内容が含まれる。 2) 外部講師等による特別講義や公開講座に合わせて複数回の講義を合併して行うことがある。 3) 必要により、他の共通科目等との共催として実施する場合がある。 4) 日程、講義タイトル、会場等に変更が生じる場合は、1ヶ月前までにADC研ホームページに公開するので確認すること。 http://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/adc_lab/event.html 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。				
オフィス	河内正治教授 ADC研オフィス(2号館B1F) 毎週(月)13:00-15:00 メールアドレス: office-adc@med.teikyo-u.ac.jp にて予約する				

No.	月日	時間	講義タイトル	担当者	備考
1	12/13(月)	18:20-19:50	パンデミックの危機管理	河内 正治 教授 (ADC研究所)	場所は別途連絡
2	12/14(火)	18:20-19:50	災害時における医師や技師、消防隊などの活動 高野甲子雄先生(元東京消防庁)(オンデマンド視聴)	河内 正治 教授 (ADC研究所)	
3	12/15(水)	18:20-19:50	感染症との戦い(SSIを撲滅するために)	河内 正治 教授 (ADC研究所)	
4	12/16(木)	18:20-19:50	アジア国際感染症「バイオセーフティと感染防御」 棚林清先生(国立感染症研究所)(オンデマンド視聴)	河内 正治 教授 (ADC研究所)	
5	12/20(月)	18:20-19:50	ウイルス感染とサイトカインストーム	鈴木 章一 准教授 (ADC研究所)	
6	12/21(火)	18:20-19:50	インターフェロン制御因子によるウイルス感染防御	鈴木 章一 准教授 (ADC研究所)	
7	12/22(水)	18:20-19:50	ウイルスと抗ウイルス薬(その1)	菅又 龍一 講師 (ADC研究所)	
8	12/23(木)	18:20-19:50	ウイルスと抗ウイルス薬(その2)	菅又 龍一 講師 (ADC研究所)	
その他の演習・セミナー等		東南アジアの病院での感染症研修(希望者) アジア諸国からADC研や国際シンポジウムに来訪する外国人の医師・医療スタッフとの研究交流(希望者)			

※講義日程の変更・追加の連絡等がある場合、登録されているメールアドレスに連絡します。